様式２

事後評価概要

事　業　名	水と緑の田園都市 ・水辺再生事業	地　区　名	成田用水（なりたようすい）
事業箇所	熊谷市	事業実施機関	大里農林振興センター
総事業費	9,621万円	事業期間	平成20年度～平成22年度

事業の概要

（事業目的）

本用水路は約400年前に開削された農業用水路で、水田を潤す農業用水としてだけでなく、市中心部を流れる生活用水として親しまれて来た歴史ある水路である。

しかし、近年は生活雑排水の流入による水質悪化や、水路法面の崩壊などにより、水辺環境が急速に悪化し、地元住民から改修の要望が度々上がっていた。

このような状況から、農業用水路としての機能回復を図ると共に、水辺環境に配慮した整備を実施することにより、親水性の向上や生態系の保全を図るものとする。

（事業内容）

用水路整備区間　663.0m（既設利用233.0m含む）

親水護岸　422.2m、親水施設　１か所、付帯工（橋等）7.8m

（※別添事業概要参照）

事業効果

事業実施後のアンケート結果比較

	内　　容	実施前	実施後	上昇率
景観	景観が良い （やや良い含む）	18%	94%	76ポイント上昇

○ 水辺環境の向上（水質改善、不法投棄の抑止、地域協業の清掃作業）

○ 安全性の向上（フェンスの設置、緩勾配護岸整備）

○ 環境教育の実施（小学生によるメダカの放流や清掃活動）

その他

（用水路の状況）

（事業実施前）

（事業実施後）

（平成 28 年 7 月現在）
良好な水辺環境が維持

小学校による環境美化活動

地域協業による除草作業

事後評価結果

水辺環境の改善に伴い住民意識が向上したこと、また維持管理活動が定期的に実施されていることなどから、現在でも良好な環境が維持されています。